

# 令和2年度教育方針

福岡県立宗像高等学校

「宗高から日本へ、そして世界へ発信」

－ 夢に向かって －

## 校訓

「質実剛健 自彊不息」

## 宗高の精神 － たくましく 自ら励み 未来を拓く －

- ・ 文を尊び、体を練り、自ら精進する人材の育成
- ・ 自らの使命を自覚し、思いやりの心を持って社会に貢献する人物の育成
- ・ 郷土を深く愛し、文化と伝統を尊重する人物の育成

## I 本年度の学校教育目標

主体性を持って行動し、夢に向かって粘り強くチャレンジする宗高生の育成

## II 本年度の学校運営方針

- 1 校訓「質実剛健 自彊不息」を体現するため、学習活動・学校行事等を通して協働性や探究力、コミュニケーション力を伸ばし、生徒の主体性を重視した教育活動を推進する。
- 2 教育改革に伴う変化に柔軟に対応するため、職員間の協働性と課題解決に向けた実行力を高め、本校の特色を生かした魅力ある中高一貫教育の基礎を構築する。

## III 本年度の重点目標（具体的目標）

- 1 自彊不息の学習指導と授業改善
  - ① 生徒の主体性に重点を置いた学習指導の在り方を工夫し、生徒が課題意識を持って自ら学習に取り組む姿勢、粘り強く物事を探究する姿勢を育成する。
  - ② 難関大志望生徒に対応できる教科指導力の向上と指導体制の整備に取り組む。
  - ③ 大学入試改革に対応した学習指導の研究と実践に取り組む。
- 2 生徒指導と進路指導の一体的指導
  - ① 自己指導力育成のため「夢に向かって」を継続的・効果的に活用し、自らの将来の目標実現に向けた実践力を育成する。
  - ② 協働性、探究力、コミュニケーション力の育成や、自己の役割に対する責任感の醸成につながるよう、学校行事等の在り方について点検・改善を図る。
  - ③ 生徒の主体性に重点を置いた学校行事・部活動等を通して、生徒の自尊心と愛校心を高めるとともに、粘り強く物事にチャレンジする姿勢を育成する。

## IV 各領域の具体的目標及び方策

### 1 教育推進領域

#### (1) 教育計画部

- ア 本校の教育目標を実現するための学習指導について研究する。
- ・主体的に粘り強く探究する態度を育成することを目指し、新学習指導要領および大学入試改革に対応した教育課程を策定する。
  - ・学年や教科と連携し、生徒の個別指導を支援する。
- イ 他の分掌と連携し、生徒の主体性を重視した学習指導を支援する。
- ・学年や進路指導部と連携し、生徒の探究活動が充実するよう支援する。
  - ・統合型校務支援システムの運用と活用について研究し、現行業務との整合性を図ることによって、円滑な学習活動を支援する。

#### (2) 企画広報部

- ア 生徒の探究心・主体性の醸成につながるよう、式典やPTAの活動を実施する。
- ・中高が一体となった式典やPTA活動ができるよう、他分掌と連携する。
  - ・奨学金等の周知に努め、生徒の進路設計を支援する。
- イ 宗像中学校・高等学校の魅力を発信する効果的な広報活動を展開する。
- ・ホームページの更新をこまめに行い、内容を充実させる。
  - ・中学校への情報発信を丁寧にし、中学訪問等の広報活動を強化する。

## 2 生徒支援領域

### (1) 生徒育成部

- ア 質実剛健の精神に基づき、高い規範意識と自律の精神を持ち、思いやりのある生徒の育成を目指す。
- ・日々の生活で明るく元気な挨拶ができ、自己責任能力や道徳心を持った生徒を育成する。
  - ・安全な学校生活の確立を目指し、ルールやマナーを身に付けた生徒を育成する。
- イ 高い志を持ち、生徒会活動や部活動を通して目標達成に向けて粘り強く挑戦し続ける生徒を育成する。
- ・生徒会活動への積極的参加を促し、学校行事等の在り方について点検・改善を図る。
  - ・部活動を通してリーダーを育成するとともに目標に向けて挑戦し続ける生徒を育成する。

### (2) 保健環境部

- ア 各種委員会の活性化を図り、主体的に取り組む生徒を育成する。
- ・清掃方法のあり方を改善し、校内美化の意識向上に取り組む。
  - ・リサイクルと節電に取り組み、エコスクールとしての意識を高める。
- イ 中高一貫校として中高間の連携を深め、生徒の心身両面の情報共有に努める。
- ・生徒の傾向を把握し、検診結果等の引き継ぎをスムーズにする仕組みを構築する。
  - ・中高ならびに学年内で情報交換を密に行い、さまざまな情報を共有する。

## 3 進路支援領域

### (1) 進路指導部

- ア 入試の多様化に対応し、希望進路実現のための指導体制を整備する。
- ・入試の多様化に関する情報の速やかな共有に努め、指導法への反映に資する。
  - ・難関大を含む希望進路を叶える課外、模試等の計画と活用を図る。
- イ キャリアに関する学習を主体的に行い、進路意欲の高揚を図る。
- ・授業で学ぶことの面白さを実感し、主体的に取り組むことができる探究活動を行う。
  - ・大学等との連携事業を積極的に行い、社会で役立つ幅広い教養と高い知識を養う。

### (2) 図書部

- ア 生徒の主体的な学びを支援する「学習情報センター」としての機能を充実させる。
- ・選書委員会や総探委員会と連携を取り、授業での学びを拡大深化させるための書籍の収集に努める。
  - ・図書館にある書籍・情報を積極的に紹介・案内する工夫をする。
- イ 図書委員会の主体的な活動を促す取り組みをし、「読書センター」としての機能を強化する。
- ・各図書館行事を有意義な活動にするために、図書委員を主体とした広報活動を活性化させる。
  - ・生徒の活動や成果物を積極的に発表、活用し、主体的な読書活動を奨励する。

## 4 学年領域

### (1) 第1学年

- ア 高い志を持ち、自ら学習に取り組む姿勢、粘り強く努力する姿勢を養う。
  - ・「夢に向かって」を活用し、予習、授業、復習の習慣化を図り、基礎学力の定着と学習習慣の定着を図る。
  - ・学ぶ意義を理解させ、生徒が課題意識を持って主体的に取り組む姿勢を育成する。
- イ 生活習慣を確立させ、自律と協働の態度、自己の役割に対する責任感を育成する。
  - ・部活動や生徒会への積極的な加入を促し、心身の成長とともに協働性やコミュニケーション力の育成を図る。
  - ・一人ひとりが活躍できる場面を設定し、自己の役割に対する達成感や責任感の育成を図る。

### (2) 第2学年

- ア 中堅学年として、主体的に考え行動できる生徒を育成する。
  - ・規範意識を高め、思いやりを持ってお互いを尊重し合える集団をつくる。
  - ・学校行事等を通して、リーダーシップの育成を図る。
- イ 高い志を持ち、計画的で主体的に学習を進める習慣を身につけさせる。
  - ・「夢に向かって」を利用し、学習の習慣を定着させるとともに質の向上を図る。
  - ・「総合的な探究の時間」等を通して、自ら将来像を描き、具体的な進路目標を立てることができるようにする。

### (3) 第3学年

- ア 主体的に学習し、夢に向かって最後まで粘り強く努力する生徒の育成。
  - ・「夢に向かって」を活用し課外を含む学校中心の学習を確立させ、自己学習を習慣化させる。
  - ・生徒一人ひとりの学力の推移や現状を分析し、個に応じた進路指導を行う。
  - ・生徒のレベルに応じた学習指導を実施し、個々の生徒の進路目標を達成するための学力を保障する。特に、難関大学合格に向けた学習指導を行う。
- イ 最高学年として、学校を牽引する自覚と統率力を持った生徒の育成。
  - ・次の100年に向けた新しい伝統づくりを目標に、学校行事等に主体的に取り組む姿勢を育み、協働性やリーダーシップの育成を図る。
  - ・最高学年としての自覚、礼節ある態度を育成するため、継続的な生徒指導を行う。

## 5 研修部

- ア 職員の資質向上につながる研修を実施し、キャリアの深化充実に資する。
  - ・ICT機器を積極的に導入する。その際、資料等のデータを共有ファイルに保存し、教材準備時間の軽減を図る。
  - ・職員のキャリア深化に向けて、他校での学習活動などを紹介する機会を設定する。
- イ 主体的に学ぶ生徒を育成する授業実践のために、授業改善に取り組む。
  - ・職員の資質向上に向けて、教科内で研究協議する時間を確保するよう努める。
  - ・生徒をハイレベルの学力に到達させるための方策を検討し、実践する。  
(難関大対策委員会と連携する)